

2026年10月8日

フィットネスジム・スタジオで“ニオイ”が気になった経験 利用者の61%、従業員の87%が「ある」と回答

フィットネスジム・スタジオのニオイに関する意識・実態調査2026

パナソニック HVAC & CC株式会社(空間のニオイに対して高い脱臭効果※1を発揮する「ジアイーノ」を展開/以下、パナソニック HVAC & CC)は、2026年7月23日～7月28日の6日間、「フィットネスジム・スタジオのニオイに関する意識・実態調査2026」を実施し、1,000名の有効サンプルを集計しました。(調査協力機関:ネットエイジア株式会社)

<調査対象>

・フィットネスジム・スタジオ※を月に1日以上利用している全国の20歳以上の男女900名

・フィットネスジム・スタジオ※に勤務している全国の20歳以上の男女100名

*有人トレーニングジム、総合型フィットネスクラブ、パーソナルジム、プティックジムのいずれかで、月額基本料金が税抜5,000円以上の施設

運動後の汗によるニオイなど、さまざまなニオイが発生しやすい空間のニオイトラブルに、高い脱臭効果※1のある「ジアイーノ」を展開するパナソニック HVAC & CCとして、フィットネスジム・スタジオ従業員が抱えるニオイ対策の課題、利用者の感じる不快感に焦点をあて、フィットネスジム・スタジオのニオイについて実態を調査しました。

次亜塩素酸 空間除菌脱臭機 ジアイーノ) <https://panasonic.co.jp/hvac-cc/biz/products/ziaino/>

※1 「ジアイーノ」の脱臭効果は、周囲環境(温度・湿度)、運転時間、臭気によって異なります。



フィットネスジム・スタジオで “ニオイ”が気になったことがある



■調査概要

・対象者:フィットネスジム・スタジオ(※)を月に1日以上利用している全国の20歳以上の男女、フィットネスジム・スタジオ(※)に勤務している全国の20歳以上の男女

※有人トレーニングジム、総合型フィットネスクラブ、パーソナルジム、プティックジムのいずれかで、月額基本料金が税抜5,000円以上の施設

フィットネスジム・スタジオにおけるニオイに関する経験について

フィットネスジム・スタジオで“ニオイ”が気になった経験 利用者の61%、従業員の87%が「ある」と回答

利用者(900名)に、フィットネスジム・スタジオでニオイが気になったことがあるか聞いたところ、「気になったことがある」は60.7%と、過半数が気になったことがあるという結果となりました。

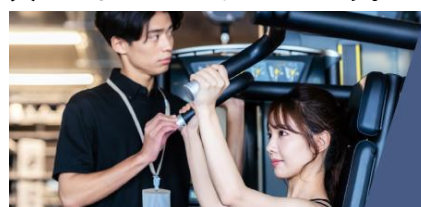
また、従業員(100名)に、フィットネスジム・スタジオでニオイが気になったことがあるか聞いたところ、「気になったことがある」は87.0%となり、施設の快適な利用・運営において、“ニオイ対策”が重要な課題となっていることがうかがえる結果となりました。

フィットネスジム・スタジオ選びの際に重視する点について

フィットネスジム・スタジオを選ぶ際に重視することTOP3

「自宅や職場から通いやすいこと」「施設全体に清潔感があること」「施設内のニオイが気にならないこと」——ニオイの気にならない環境がフィットネスジム・スタジオ選びの重要ポイントに！

利用者(900名)に、フィットネスジム・スタジオを選ぶ際に重視する点を複数提示し、それぞれどのくらい重視するかを聞いたところ、『重視する(計)』の割合が最も高くなったのは【自宅や職場から通いやすいこと】(88.3%)で、【施設全体に清潔感があること】(86.9%)、【施設内のニオイが気にならないこと】(83.3%)が続きました。ジム選びにおいて、施設内のニオイはアクセスの良さや清潔感と並んで重視される要素であり、快適な空間づくりや施設価値の向上において、ニオイ対策が欠かせないことがうかがえます。



フィットネスジム・スタジオの
脱臭対策を検討したい方は

コチラをクリック

調査結果

【フィットネスジム・スタジオにおけるニオイ対策に関する意識・実態について】

- ◆利用者が“こんなフィットネスジム・スタジオは利用したくない”と思うジムの衛生面で気になる点、従業員がフィットネスジム・スタジオで働くうえで、衛生面で気になる点
いずれもTOP2は「施設内の汚れ」と「施設内の不快なニオイ」

フィットネスジム・スタジオ*を月に1日以上利用している全国の20歳以上の男女900名(以下「利用者」)および、フィットネスジム・スタジオ*に勤務している全国の20歳以上の男女100名(以下「従業員」)に、フィットネスジム・スタジオの衛生に関する意識・経験について聞きました。

*有人トレーニングジム、総合型フィットネスクラブ、パーソナルジム、プティックジムのいずれかで、月額基本料金が税抜5,000円以上の施設

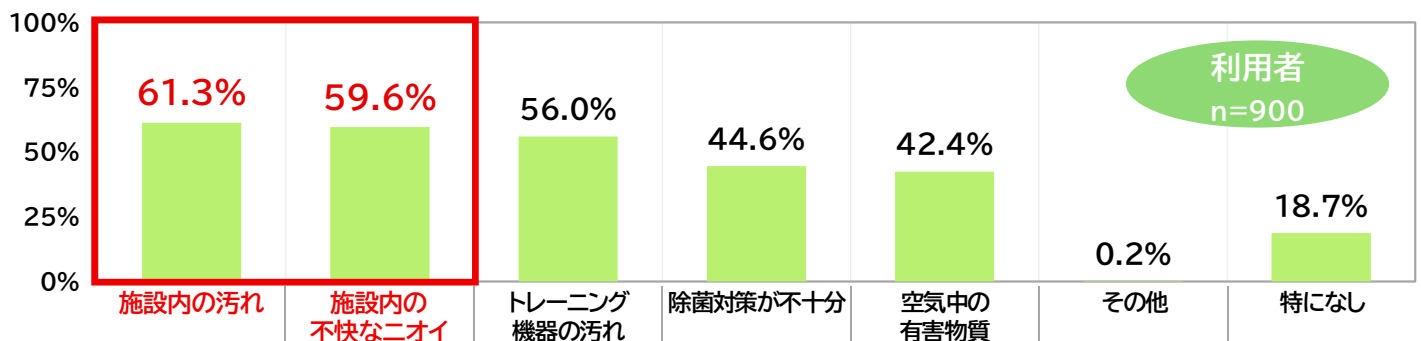
はじめに、利用者(900名)に、“こんなフィットネスジム・スタジオは利用したくない”と思うジムの衛生面で気になる点を聞いたところ、「施設内の汚れ」(61.3%)が最も高くなり、「施設内の不快なニオイ」(59.6%)が続きました。

また、従業員(100名)に、フィットネスジム・スタジオで働くうえで、衛生面で気になる点を聞いたところ、利用者が“利用したくない”と思うジムの衛生面で気になる点と同様に、「施設内の汚れ」(51.0%)が最も高くなり、次いで、「施設内の不快なニオイ」(47.0%)となりました。

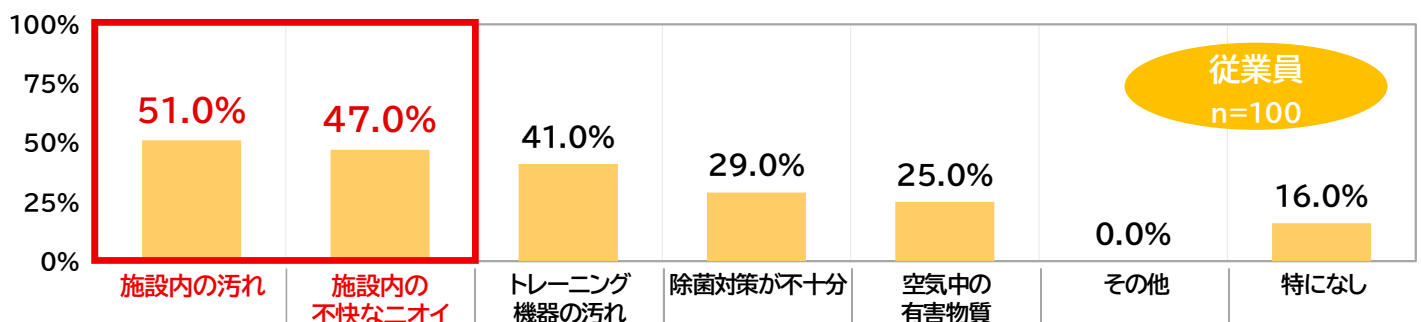
ニオイは目に見えないため対策の必要性が見過ごされがちですが、施設の清潔感や快適性の評価に直結する重要な要素であり、フィットネスジム・スタジオにおいては、汚れ対策に加え、ニオイ対策へのニーズも高まっていることがうかがえます。

フィットネスジム・スタジオの衛生面で気になる点 TOP2は施設内の“汚れ”と“ニオイ” 目に見えないニオイについても重要な課題と認識されていることがうかがえる結果に

フィットネスジム・スタジオの**利用者**が“こんなジム・スタジオは利用したくない”と思うジムの衛生面で気になる点【複数回答形式】



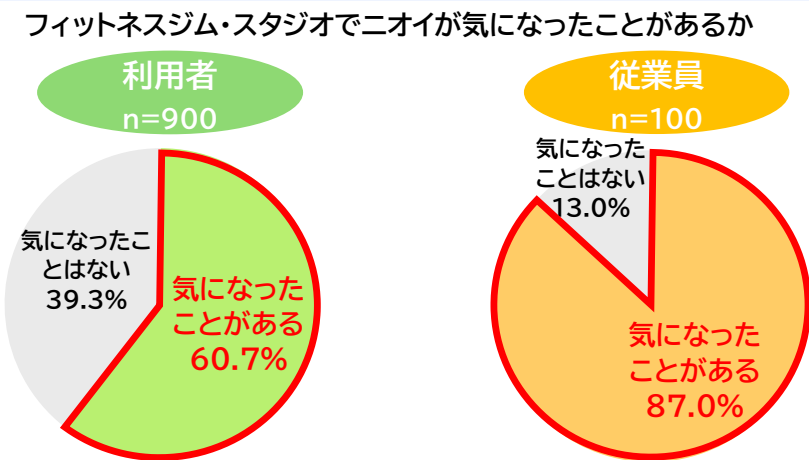
フィットネスジム・スタジオの**従業員**が、働くうえで、衛生面で気になる点【複数回答形式】



- ◆フィットネスジム・スタジオで“ニオイ”が気になった経験 利用者の61%、従業員の87%が「ある」と回答
- ◆“ニオイ”が気になったことがある場所 利用者・従業員ともに「更衣室・ロッカールーム」が1位

実際に、フィットネスジム・スタジオのニオイが気になった経験がある人はどのくらいいるのでしょうか。
 全回答者(利用者900名、従業員100名)に、フィットネスジム・スタジオでニオイが気になったことがあるか聞きました。
 利用者についてみると、「気になったことがある」は60.7%と、過半数が気になったことがあるという結果となりました。
 従業員についてみると、「気になったことがある」は87.0%となり、施設の快適な利用・運営において、“ニオイ対策”が重要な課題となっていることがうかがえる結果となりました。

フィットネスジム・スタジオ利用者の61%、従業員の87%が施設内で“ニオイ”が気になった経験あり



次に、ニオイが気になったことがある利用者(546名)に、ニオイが気になったことがある場所を聞いたところ、「更衣室・ロッカールーム」(50.9%)が最も高くなり、次いで「トイレ・洗面所」(48.0%)、「シャワールーム」(33.5%)となりました。
 同様に、ニオイが気になったことがある従業員(87名)に、ニオイが気になったことがある場所を聞いたところ、「更衣室・ロッカールーム」「トイレ・洗面所」(いずれも52.9%)が最も高くなり、利用者・従業員ともに「更衣室・ロッカールーム」が1位となりました。汗を吸収した衣服やタオルといったニオイの発生源が持ち込まれる更衣室では、利用者・従業員ともにニオイが気になりやすい環境であることがうかがえます。

フィットネスジム・スタジオでニオイが気になったことがある場所
 利用者・従業員ともに「更衣室・ロッカールーム」が高い傾向

フィットネスジム・スタジオでニオイが気になったことがある場所 [複数回答形式]
 対象:フィットネスジム・スタジオでニオイが気になったことがある人

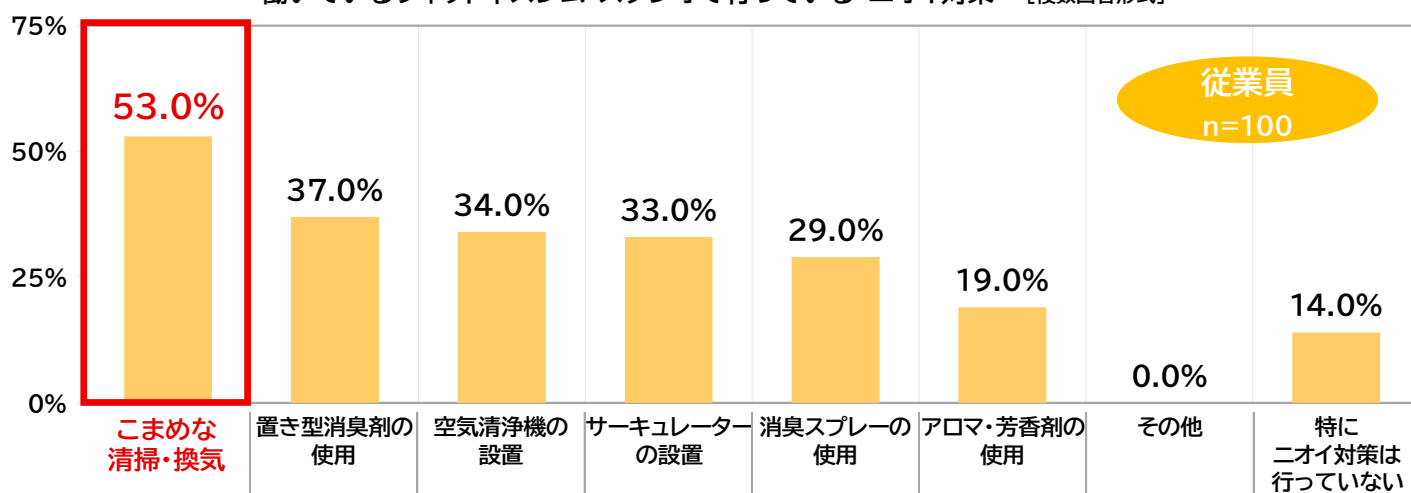
利用者【n=546】		%	従業員【n=87】		%
1位	更衣室・ロッカールーム	50.9	1位	更衣室・ロッカールーム	52.9
2位	トイレ・洗面所	48.0		トイレ・洗面所	52.9
3位	シャワールーム	33.5	3位	トレーニングルーム	40.2
4位	トレーニングルーム	29.9	4位	靴置き場・下駄箱	37.9
5位	靴置き場・下駄箱	23.8	5位	シャワールーム	34.5

◆フィットネスジム・スタジオにおけるニオイ対策「こまめな清掃・換気」が突出 一方、課題も
ニオイ対策が難しいと感じる理由「利用者の入れ替わりが多い」は44%

従業員(100名)に、働いているフィットネスジム・スタジオで行っている“ニオイ対策”を聞いたところ、「こまめな清掃・換気」(53.0%)が半数以上で最多となり、「置き型消臭剤の使用」(37.0%)、「空気清浄機の設置」(34.0%)が続きました。

働いているフィットネスジム・スタジオで行っているニオイ対策
「こまめな清掃・換気」が最多

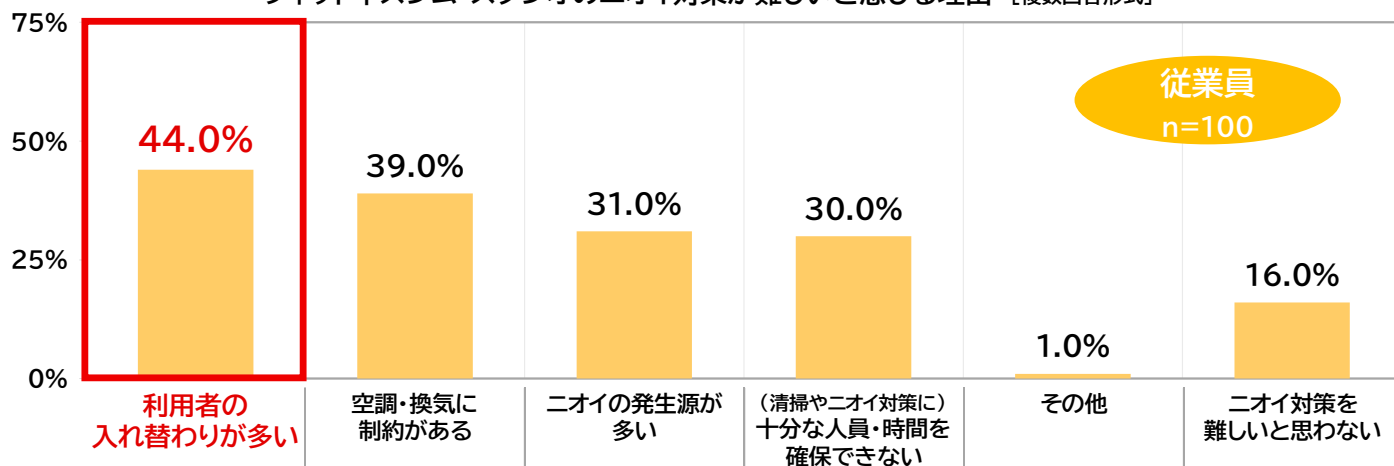
働いているフィットネスジム・スタジオで行っている“ニオイ対策” [複数回答形式]



また、フィットネスジム・スタジオのニオイ対策が難しいと感じる理由を聞いたところ、「利用者の入れ替わりが多い」(44.0%)が最も高くなり、「空調・換気に制約がある」(39.0%)、「ニオイの発生源が多い」(31.0%)が続きました。利用者の入れ替わりやニオイの発生源が多いことに加え、「空調・換気に制約がある」も回答割合が高くなっており、施設によっては設備上の制約から対策の幅が限られるケースもあるのではないのでしょうか。現在の環境の中で実施できるニオイ対策が求められていることがうかがえます。

フィットネスジム・スタジオでのニオイ対策における課題
「利用者の入れ替わりが多い」が最多

フィットネスジム・スタジオのニオイ対策が難しいと感じる理由 [複数回答形式]



【施設のニオイが及ぼす影響】

◆施設内のニオイの施設利用への影響

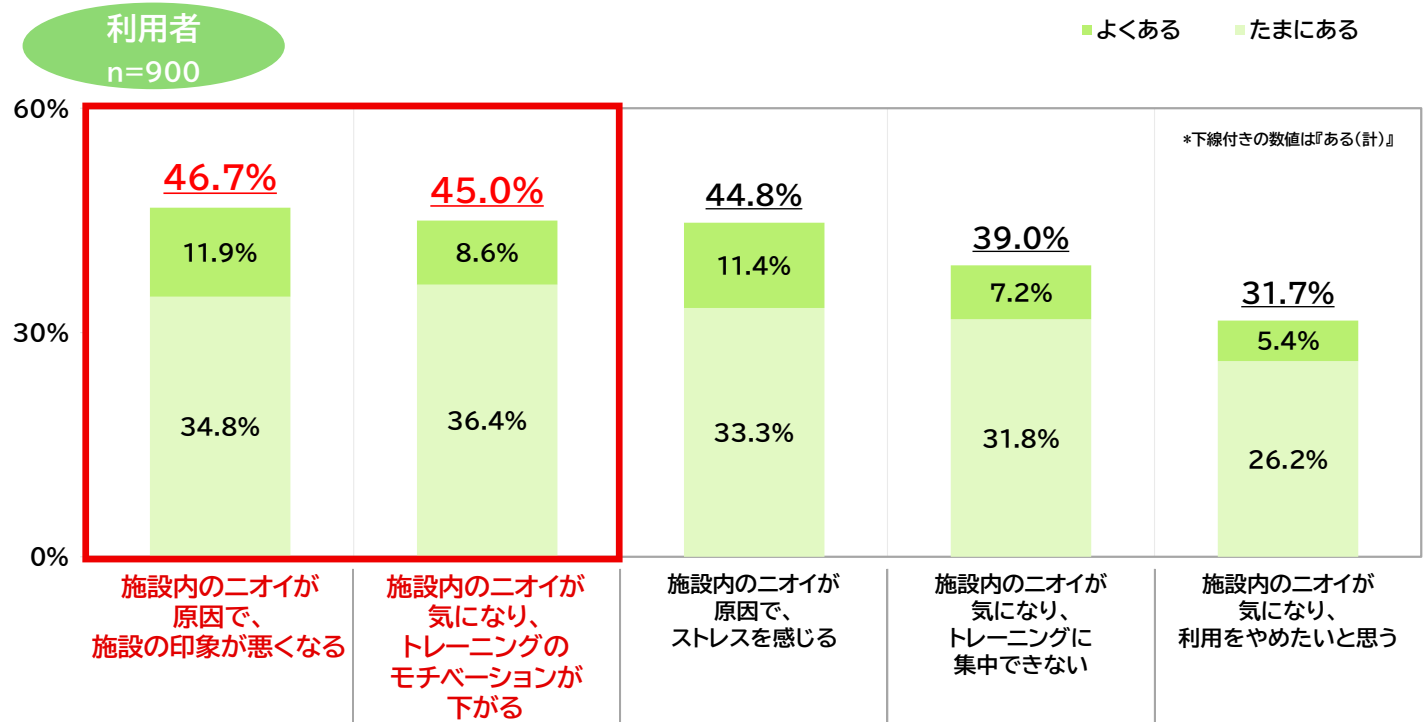
施設内の不快なニオイが利用者からの施設への評価とトレーニング意欲向上の妨げに
利用者の約半数が不快なニオイによる“トレーニング意欲の低下”“施設の印象悪化”を経験

利用者(900名)に、フィットネスジム・スタジオを利用している際の施設内のニオイに関する経験について、経験の有無を聞いたところ、【施設内のニオイが原因で、施設の印象が悪くなる】では『ある(計)』が46.7%、【施設内のニオイが気になり、トレーニングのモチベーションが下がる】は45.0%、【施設内のニオイが原因で、ストレスを感じる】は44.8%となりました。

施設内の不快なニオイは、利用者にストレスを与えるだけでなく、トレーニング意欲や集中力の低下、さらには施設そのものの印象悪化にもつながっていることがわかりました。快適な利用環境づくりにおいては、目に見える清潔さだけでなく、ニオイへの配慮も重要な要素の一つと言えるでしょう。

施設内のニオイが、施設に対する利用者の印象悪化・トレーニング意欲低下の要因に

フィットネスジム・スタジオを利用する際の、施設内のニオイに関する経験の有無 [各単一回答形式]



◆施設内の二オイの業務への影響

施設内の不快な二オイが従業員の業務意欲を下げる要因に

従業員の7割が“業務へのモチベーション低下”、6割半が“職場環境への不満”を感じた経験あり

次に、従業員(100名)に、フィットネスジム・スタジオで働いている際の施設内の二オイに関する経験について、経験の有無を聞いたところ、【施設内の二オイが気になり、業務へのモチベーションが下がる】では『ある(計)』が69.0%、【施設内の二オイが気になり、職場環境に不満を感じる】では『ある(計)』は65.0%、【施設内の二オイが原因で、ストレスを感じる】では『ある(計)』が61.0%となりました。

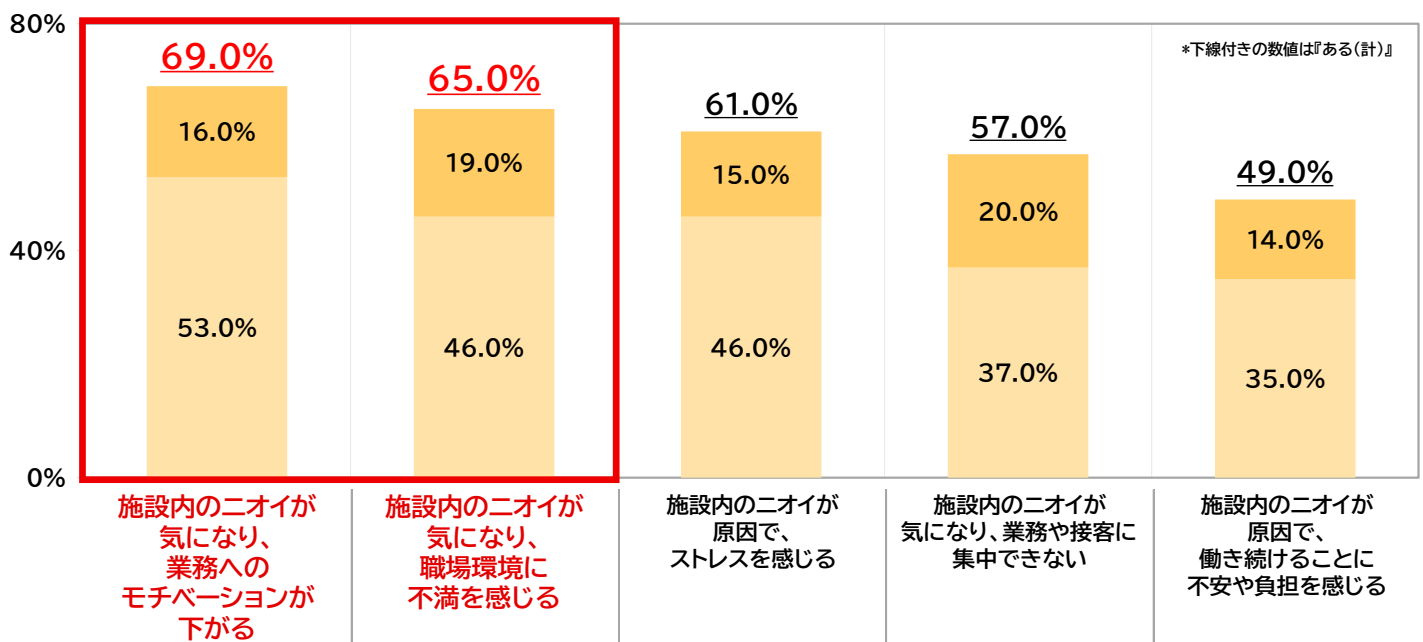
施設内の不快な二オイは、従業員の業務意欲や職場環境への満足度に影響を与えていることがわかりました。利用者にとっての快適な空間づくりはもちろんですが、従業員が働きやすい快適な環境を維持するうえでも、施設内の二オイ対策の重要性がうかがえる結果となりました。

施設内の二オイが、従業員の業務意欲や職場環境への満足度低下の要因に

フィットネスジム・スタジオで働く際の、施設内の二オイに関する経験の有無 [各単一回答形式]

従業員
n=100

■ よくある ■ たまにある



◆フィットネスジム・スタジオを選ぶ際に重視することTOP3

「自宅や職場から通いやすいこと」「施設全体に清潔感があること」「施設内のニオイが気にならないこと」

——ニオイの気にならない環境がフィットネスジム・スタジオ選びの重要ポイントに！

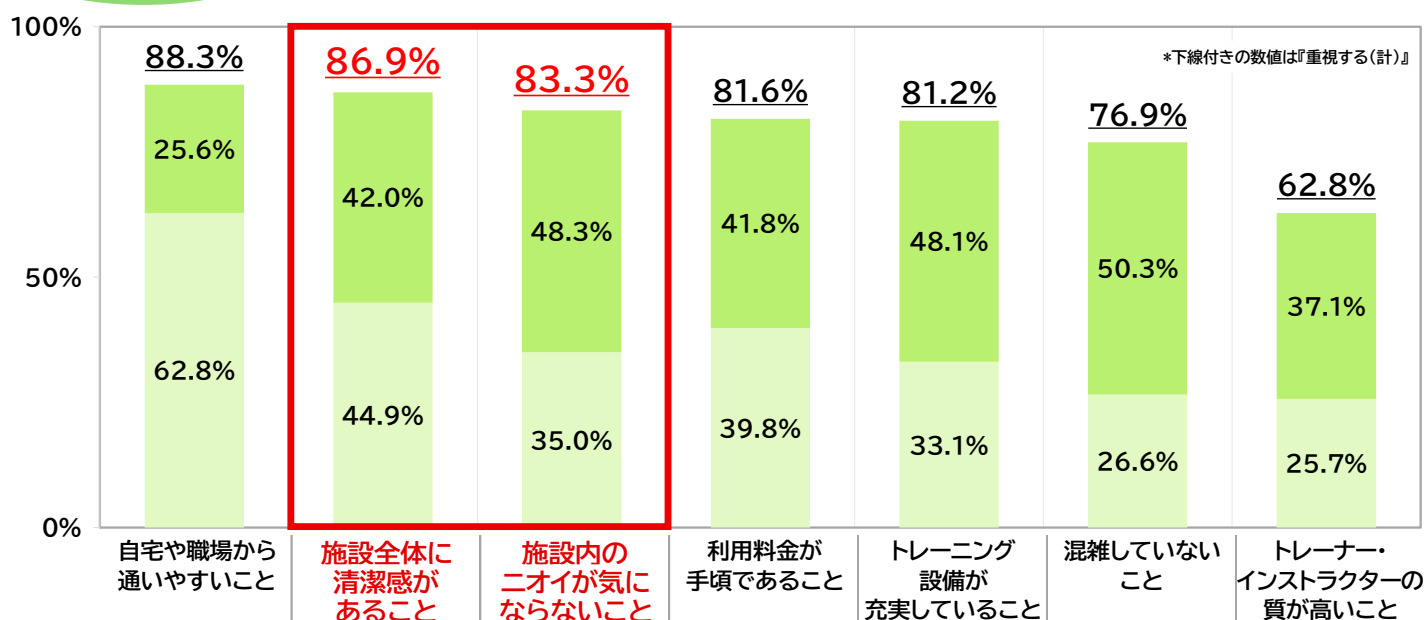
利用者(900名)に、フィットネスジム・スタジオを選ぶ際に重視する点を複数提示し、それぞれどのくらい重視するかを聞いたところ、『重視する(計)』の割合が最も高くなったのは【自宅や職場から通いやすいこと】(88.3%)で、【施設全体に清潔感があること】(86.9%)、【施設内のニオイが気にならないこと】(83.3%)が続きました。ジム選びにおいて、施設内のニオイはアクセスの良さや清潔感と並んで重視される要素であり、快適な空間づくりや施設価値の向上において、ニオイ対策が欠かせないことがうかがえます。

施設内の清潔感・ニオイが、フィットネスジム・スタジオ選びに大きく影響

フィットネスジム・スタジオを選ぶ際、どのくらい重視するか [各単一回答形式]

利用者
n=900

■やや重視する ■非常に重視する



注:本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、内訳の計と合計が一致しない場合や、内訳を合計しても100%とならない場合があります。

◆今後、フィットネスジム・スタジオのニオイ対策として期待すること

利用者は「除菌と脱臭を同時にできる対策」が42%、従業員は「空間全体をカバーできる対策」が36%

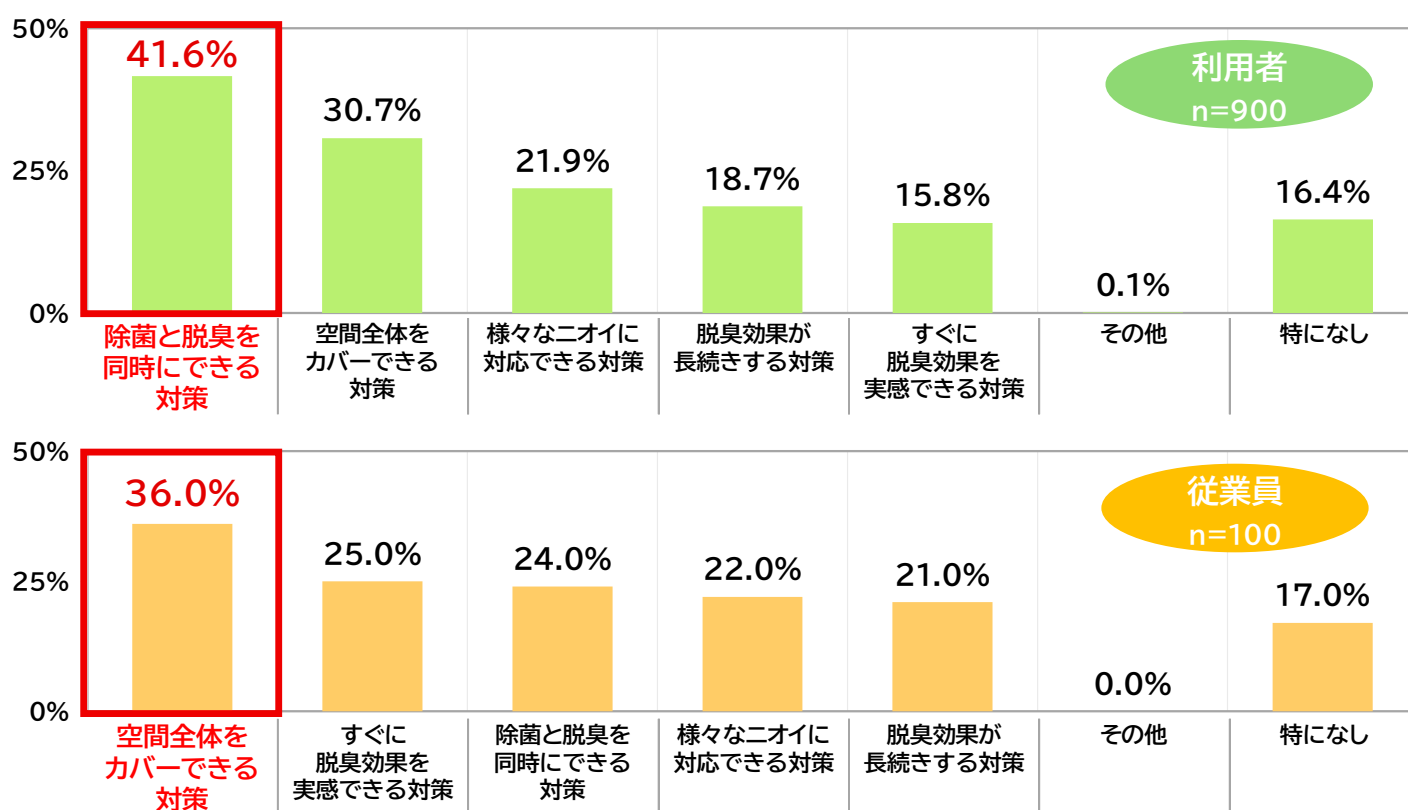
最後に、今後、フィットネスジム・スタジオのニオイ対策として期待することを聞きました。

利用者(900名)の回答をみると、「除菌と脱臭を同時にできる対策」(41.6%)が最も高くなり、「空間全体をカバーできる対策」(30.7%)、「様々なニオイに対応できる対策」(21.9%)が続きました。フィットネスジム・スタジオの利用者では、ニオイ対策とともに除菌対策の強化への期待が高い様子が見えてきました。

従業員(100名)の回答をみると、「空間全体をカバーできる対策」(36.0%)が最も高くなり、次いで、「すぐに脱臭効果を実感できる対策」(25.0%)、「除菌と脱臭を同時にできる対策」(24.0%)となりました。従業員では、更衣室やトレーニングルームなど、それぞれの空間全体をカバーできるニオイ対策や、即効性のあるニオイ対策を求めている人が多いようです。

利用者は“除菌と脱臭を同時にできるニオイ対策”、
従業員は“空間全体をカバーできる対策”に高い期待

今後、フィットネスジム・スタジオのニオイ対策として期待すること [複数回答形式(2つまで)]





フィットネスジム・スタジオの
脱臭対策を検討したい方は

コチラをクリック



フィットネスジム・スタジオのニオイ対策に「ジアイーノ」

調査結果から、利用者・従業員の多くがフィットネスジム・スタジオでニオイが気になった経験を有しており、施設内の不快なニオイがトレーニングへの意欲や施設の印象に影響を与えていることがわかりました。また、従業員においても、施設内の不快なニオイが業務へのモチベーション低下や職場環境への満足度に影響していることが明らかとなりました。

さらに従業員調査では、現在実施しているニオイ対策として「こまめな清掃・換気」が上位に挙がる一方で、「利用者の入れ替わりが多い」「空調・換気に制約がある」などの理由から、十分なニオイ対策の実施に課題や負担を感じている人もみられ、現状の運営環境や設備環境に応じて取り組めるニオイ対策が求められていることがうかがえます。

こうしたニオイ対策の選択肢の一つとして、パナソニックの「次亜塩素酸 空間除菌脱臭機 ジアイーノ」があります。「ジアイーノ」は、次亜塩素酸を用いて、除菌^{※1}と脱臭^{※1}を同時に行うことができます。更衣室・ロッカールームをはじめ、さまざまなニオイが気になりやすい空間の快適性維持をサポートします。また、利用者調査でニーズの高かった「除菌と脱臭を同時にできる対策」、従業員調査でニーズの高かった「空間全体をカバーできる対策」にも応える製品として、多くの人が利用するフィットネスジム・スタジオの衛生環境づくりに貢献します。



次亜塩素酸で空気を洗う

次亜塩素酸 空間除菌脱臭機

ziaino[®]
ジアイーノ

商品詳細はこちら)<https://panasonic.co.jp/hvac-cc/biz/products/ziaino/>

フィットネスジム・スタジオ 納入事例はこちら)<https://panasonic.co.jp/hvac-cc/biz/products/ziaino/case08/>

2週間無料体感はこちら)<https://panasonic.co.jp/hvac-cc/biz/products/ziaino/experience/>

リサーチレポート一覧はこちら)<https://panasonic.co.jp/hvac-cc/biz/products/ziaino/researchreport/>

★1 浮遊菌の場合：約6畳(25m³)の密閉空間における、10分後の効果^{※2} 付着菌の場合：約18畳(74m³)の試験空間における、45分後の効果^{※3}
数値は実際の使用空間での試験結果ではありません。

※1 「ジアイーノ」の脱臭効果は、周囲環境(温度・湿度)、運転時間、臭気によって異なります。

※2 【試験機関】一般財団法人 北里環境科学センター 【試験方法】約6畳(25m³)の密閉空間で、浮遊させた菌数の変化を測定 【除菌の方法】次亜塩素酸空間除菌脱臭機(F-JDU75)を風量「強」・チャージレベル「高」運転で実施 【対象】浮遊した菌 【試験結果】10分後に99%以上抑制(北生発 2021_1230 号)

※3 【試験機関】一般財団法人 北里環境科学センター 【試験方法】約18畳(74m³)の試験空間で、室内中央と室内奥に置いたシャーレに付着させた菌数の変化を測定 【除菌の方法】次亜塩素酸空間除菌脱臭機(F-JDU75)を風量「強」・チャージレベル「高」運転で実施 【対象】シャーレに付着した菌 【試験結果】45分後に99%以上抑制(北生発 2021_0370 号)

■調査概要■

調査タイトル	:フィットネスジム・スタジオのニオイに関する意識・実態調査2026
調査対象	:フィットネスジム・スタジオ*を月に1日以上利用している全国の20歳以上の男女、および フィットネスジム・スタジオ*に勤務している全国の20歳以上の男女 *有人トレーニングジム、総合型フィットネスクラブ、パーソナルジム、プティックジムのいずれかで、 月額基本料金が税抜5,000円以上の施設
調査地域	:全国
調査方法	:インターネット調査
調査期間	:2026年7月23日～7月28日の6日間
有効回答数	:1,000サンプル(内訳:利用者900名、従業員100名)
実施機関	:ネットエイジア株式会社

■■報道関係者の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「パナソニック HVAC & CC(株)調べ」と付記のうえご使用ください。

■■本調査に関するお問い合わせ窓口■■

パナソニック HVAC & CC 株式会社
お問い合わせフォーム https://solution.hvac.panasonic.com/inquiry_ziaino
IAQ事業部 国内IAQ営業統括部 営業企画部
メール iaq_promotion@gg.jp.panasonic.com
受付時間:09:00～17:30(月～金 ※祝日除く)

■■会社概要■■

代表者名 片山 栄一
設立 2026年4月1日
所在地 東京都港区東新橋1丁目5番1号 パナソニック東京汐留ビル
業務内容 家庭用エアコン、空気質関連製品、ヒートポンプ給湯機など水関連製品、空調デバイス、冷凍機
の開発/製造/販売/施工/サービス

会社の詳細は <https://panasonic.co.jp/hvac-cc/corp/> をご覧ください。